

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公開番号】特開2010-228570(P2010-228570A)

【公開日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-041

【出願番号】特願2009-77910(P2009-77910)

【国際特許分類】

B 6 2 M 7/12 (2006.01)

B 6 0 K 7/00 (2006.01)

B 6 2 M 23/02 (2010.01)

B 6 2 L 1/00 (2006.01)

【F I】

B 6 2 M 7/12

B 6 0 K 7/00

B 6 2 M 23/02 1 1 0

B 6 2 L 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月21日(2011.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

以下、本発明に係るモータ駆動車両の実施の形態について図面を参照して説明する。

図1は本発明に係るモータ駆動車両の一実施の形態を示す側面図、図2は要部を示す正断面図である。

この実施の形態のモータ駆動車両10は自動二輪車であり、車体をなすフレーム11を有している。このフレーム11の前端を構成するヘッドパイプ12に操舵自在にフロントフォーク20が取付けられ、このフロントフォーク20の上部にバーハンドル14が取付けられている。フロントフォーク20の下端に前輪30が取り付けられている。フレーム11の内側にはエンジン15が固定されている。エンジン15には吸気装置15iと排気装置15oとが接続されている。フレーム11の後部には、左右一対のスイングアーム16がピボット軸13で上下スイング自在に取り付けられており、このスイングアーム16の後端部に後輪17が取り付けられている。後輪17は、エンジン15により図示しないチェーンやドライブシャフト等の駆動伝達手段を介して駆動される。18はリヤクッシュユニットであり、上端がフレーム11の後部上部に連結されるとともに下端がリンク機構18bを介してスイングアーム16の下部と車体フレーム11の後部下部とに連結されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

C 車体中心

10 モータ駆動車両

1 1 車体フレーム
2 0 フロントフォーク
2 1 車輪軸
3 0 駆動輪
3 1 ホイールハブ
3 1 e 環状端部
4 0 モータ
4 1 ロータ
4 2 ステータ
5 0 制動機構
6 0 車体側固定部材
6 0 e 環状端部
7 0 ワンウェイクラッチ

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】

図1

